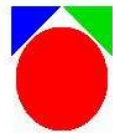


中区桜川橋ほか2か所舗装補修工事 建設ステーション元気アップコンテスト



株式
会社

テクニジャパン



中区桜川橋ほか2か所舗装補修工事 における取り組み

1) 建設キャリアアップシステムの活用

2) 現場臨場システムの導入

3) 働き方改革に向けた取り組み

1. 建設キャリアアップ システムの活用

業者登録と受け
入れ体制の確立

現状と取り組み

はじめに・・・

本社安全衛生協議会等でCCUSの登録を協力業者の責任者に促した



なかなか協力業者の登録が進まない



弊社で代行申請が出来る様に土木部データ管理係内でCCUS担当を専任し、登録方法を習得した

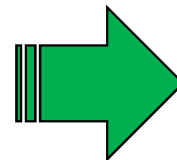


弊社で代行申請が可能な事を協力業者に通達し再度促進した



代行申請を行うことにより登録業者が増えた

次のステップ



登録業者受け入れ体制の確立

事務所での入退室管理できるようにした
(全現場受け入れ態勢はOK)



現場や置場等で朝礼をする現場については事務所外でも受け入れが出来るように端末を用意した

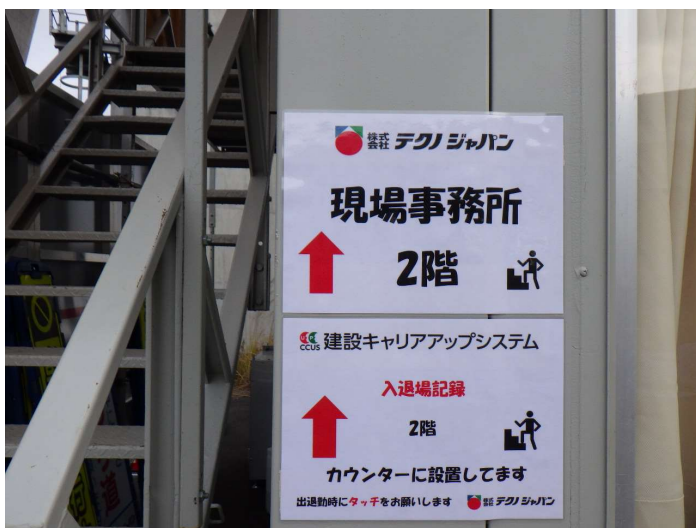
※事務所外での受け入れ状況

当初はノートパソコンとWi-Fiを持って行きカードを読み取っていたが、準備や機器を持ち歩く負担を考慮しCCUS用の携帯電話端末を繋ぐだけでカードを読み取れるようにした

👉 今は携帯電話と繋がなくてもデータを蓄積できる端末を用意している

場内現場

現場事務所内のカウンターに端末を設置し、入退場記録を管理！



場外現場

以前

PCとWi-Fiと使用



場外でも負担なく入退場管理できる環境を整えました！



以前

CCUS用携帯電話端末使用



現在

端末のみ使用



今後の課題

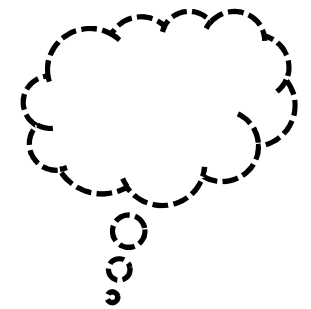
- 全ての協力業者のCCUS登録が進まない

CCUSに登録するメリットが感じられていない協力業者が少なからずあり、前向きではない

- 現場入場時CCUSカードを持参しない

協力業者・技能者共に登録をしても普段カードを携帯しない作業員が多い

**強制ではないので確立まではもう少し時間がかかるが
土台作りは着々と前進している**



2.現場臨場システム の導入

リモートでの立会
及び施工状況確認

導入に至った経緯

コロナ禍で対面での打合せも出来ない状況下で

現場を運営しなければならない



まずは働き方改革としてリモートでも

立会・確認ができる現場臨場システムを導入した

導入メリット

移動時間削減による生産性向上

移動・待機時間を削減することで効率良い現場運営が可能になり生産性の向上になる
発注者（監督員）が在宅勤務時でも立会が可能である

気になったことをすぐ確認できる

現場進捗状況や確認したいことをすぐに確認ができる

導入のハードルが低い

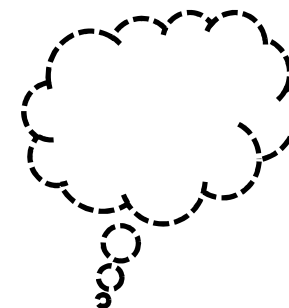
機器とカメラを設定すれば容易に扱うことができる



課題

炎天下により通信機器の不具合

夏季の道路工事の遠隔臨場において、炎天下により現場の機器にオーバーヒートが発生し、中断を余儀なくされたケースがあった



現場の通信環境に影響される

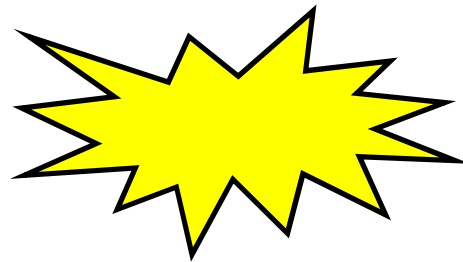
トンネル内の工事など通信環境が悪い場所では映像や音声がかかる場合がある為、非効率になる場合がある



3.働き方改革 に向けた取り組み

業務分担と社内
グループウェアの導入

建設業の残業規制



2024年4月以降、月45時間以内、年360時間以内の上限規制が適用される

現場従事者の負担を減らすために、働き方改革として業務分担や、さらなる業務効率化をツールを導入する必要がある

※弊社では本社「データ管理係」を活用、またグループウェアを導入することで業務負荷を軽減し、作業効率を上げることができた。

★ データ管理係とは・・・ 土木部内勤者であり、現場の業務を軽減する為の部署です。

働き方改革を実施するために



● 本社「データ管理係」の活用

本社の「データ管理係」を活用し現場書類を分担して作成することで残業時間を削減することができた

■ 例

- ① 現場で写真撮影したデータを作業終了時に本社サーバーへ格納すると翌日データ管理係が編集をする
- ② 月2回データ管理係が現場事務所に出向き、伝票を本社に持ち帰り整理する
- ③ 定期的に施工体制台帳のチェックを行い、不備があれば修正する
- ④ 工事竣工前にデータ管理係による竣工書類の書類社内検査の実施 etc

● 社内グループウェアの導入

勤怠管理を目的としたグループウェアを導入

→タイムカード機能による残業時間確認

(日々の勤務時間を登録し、可視化できるようにすることで超過勤務を把握し、超過している場合は原因を追究し残業時間超過の軽減に努めた)

グループウェアで可能な業務

勤怠管理 に加えて…

☑データ共有機能

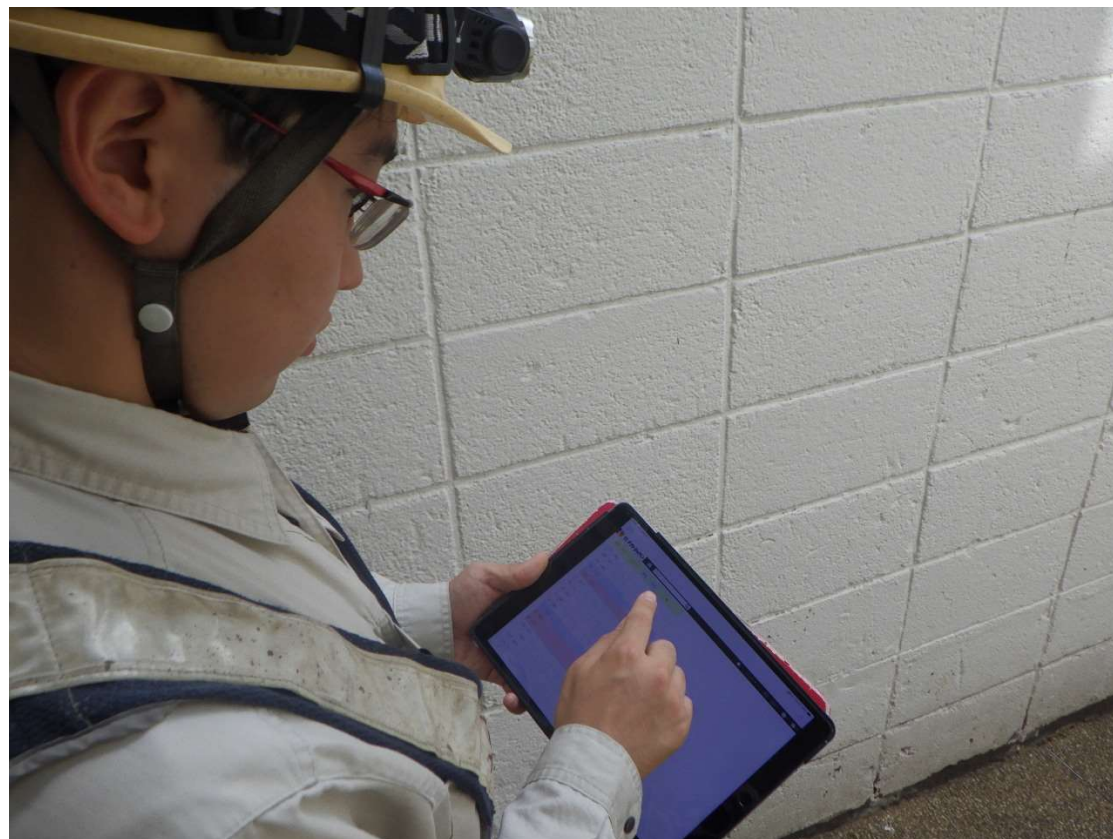
社員間の伝達業務負荷を削減、社内SNSやメールで送れない大容量データなどの共有

☑スケジュール機能

会議などの日程を漏れなく共有、設備予約や日程の重複を防止

☑ワークフロー機能

申請書の作成や承認・決裁手続きを電子化し、迅速な処理・ペーパーレス化を実現



その他の取り組み

内勤者勉強会



月2回、事務職員を対象に勉強会を実施

スキルアップを図るとともに、業務の進め方、職場環境の改善策を募り実践することで働きやすい職場作りに努めている。

メンター制度



若手社員をリーダーにして定期的に集会を実施

若手の率直な意見・要望を聞き、社内で展開できる仕組みを構築。また意見・要望には即対応するよう取り組んでいる。

カフェテリアプラン



カフェテリアプラン（選択型福利厚生制度）の導入

若年層を中心に、自分のための時間を最重要視する価値観へと変化していることから、社員の好きなことに会社が補助をする「カフェテリアプラン」を導入した。

- 例 旅行、健康増進(スポーツクラブ等)、レジャー施設、育児・介護支援 etc

テクノジャパン各種アカウント

ホームページ



YouTube



Instagram



Facebook



ありがとうございました。



取締役

土木部長 酒井 昌弘